

平成24年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年2月8日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 ハンズマン

コード番号 7636 URL <http://www.handsman.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大藺 誠司

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役経営企画室長兼経理部長 (氏名) 小田 清謙

TEL 0986-38-0847

四半期報告書提出予定日 平成24年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 証券アナリスト・機関投資家向け

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年6月期第2四半期の業績(平成23年7月1日～平成23年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年6月期第2四半期	12,600	4.9	294	101.0	600	35.8	336	53.5
23年6月期第2四半期	12,010	13.2	146	47.1	441	28.1	219	18.5

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年6月期第2四半期	65.64	—
23年6月期第2四半期	42.76	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年6月期第2四半期	17,116	7,304	42.7	1,422.83
23年6月期	16,412	7,114	43.3	1,385.88

(参考) 自己資本 24年6月期第2四半期 7,304百万円 23年6月期 7,114百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年6月期	—	0.00	—	28.00	28.00
24年6月期	—	0.00	—	—	—
24年6月期(予想)	—	—	—	28.00	28.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年6月期の業績予想(平成23年7月1日～平成24年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,150	3.5	623	21.9	1,205	13.2	687	20.6	133.82

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年6月期2Q	5,136,600 株	23年6月期	5,136,600 株
24年6月期2Q	3,024 株	23年6月期	3,024 株
24年6月期2Q	5,133,576 株	23年6月期2Q	5,133,640 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	3
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
4. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間における小売業を取り巻く環境は、企業の生産活動や設備投資に一部持ち直しの兆しが見られましたが、急速な円高の進行や景気の先行き不透明感から個人消費は依然伸び悩んでおります。

このような環境の中、当社は前事業年度に引き続きお客様の要望される商品の導入・拡充を行うための売場改装を推進し、お客様のお役に立てるお店として、より充実した品揃えを実現してまいりました。

その結果、既存店の来店客数が前年同期比102.3%、客単価が前年同期比100.0%となり、既存店売上高は前年同期比102.4%の120億7千2百万円となりました。全店では来店客数が前年同期比104.9%、客単価が100.0%となり、全店売上高は前年同期比104.9%の126億円となりました。

利益は売上総利益率が前年同期比0.3ポイント伸長の28.7%となり売上総利益が36億2千2百万円(前年同期比106.3%)となりました。さらには、前年同期のくさみ店のオープン準備に係る費用が当第2四半期累計期間は無かったことから営業利益が前年同期比201.0%の2億9千4百万円と伸び、経常利益は前年同期比135.8%の6億円となりました。四半期純利益は前年同累計期間に計上していた資産除去債務に関する会計基準の適用による影響額が当第2四半期累計期間は無かったことから前年同期比153.5%の3億3千6百万円となりました。

(注) 当社は営業開始後13ヵ月経過した店舗を既存店、13ヶ月未満の店舗を新店と定義しております。当第2四半期累計期間の末日においては全10店舗が既存店となりますが、くさみ店の平成23年7月から10月の売上高は開店後13ヵ月未満となりますので、既存店累計売上高には含んでおりません。

部門別の業績は次のとおりであります。

(単位：百万円)

部 門 別	前第2四半期累計期間 (自 平成22年7月1日 至 平成22年12月31日)		当第2四半期累計期間 (自 平成23年7月1日 至 平成23年12月31日)		増減額	前 年 同期比
	金 額	構成比	金 額	構成比		
D I Y用品 ホビー・木製品、建材、手工具、 電動工具、金物、塗料、接着剤、 園芸資材、薬剤肥料・用土、植 物、エクステリア用品、石材	5,966	49.7 %	6,279	49.8 %	313	105.3 %
家庭用品 家庭用品、日用品、インテリア用 品、電気資材用品、収納用品、住 宅設備用品	4,200	35.0 %	4,412	35.0 %	212	105.1 %
カー・レジャー用品 カー用品、アウトドア用品、ペッ ト、生体、文具	1,844	15.3 %	1,907	15.2 %	63	103.5 %
合 計	12,010	100.0 %	12,600	100.0 %	589	104.9 %

なお、上記金額には消費税等は含まれておりません。

(2) 財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期会計期間末における資産合計は、前事業年度末に比べ7億4百万円増加の171億1千6百万円となりました。これは主に、現金及び預金が増加したほか、お客様要望商品の導入・拡充により棚卸資産が増加するなど、流動資産が6億9千2百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期会計期間末における負債は、前事業年度末に比べ5億1千4百万円増加の98億1千2百万円となりました。これは主に、長期借入金の返済により固定負債が4億5千5百万円の減少となった一方、買掛金が4億4千6百万円および短期借入金が7億3千3百万円増加したことで流動負債合計が9億7千万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産は、前事業年度末に比べ1億8千9百万円増加の73億4百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末に比べ4億8千7百万円増加の9億8千1百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、6億2千2百万円（前年同期比311.9%）となりました。これは主に、税引前四半期純利益が5億9千4百万円、減価償却費が2億9千1百万円、仕入債務増加額が4億4千6百万円となったのに対し、たな卸資産の増加額が3億1千4百万円、法人税等の支払額が2億9千1百万円となったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、2億6千7百万円（前年同期比26.2%）となりました。これは主に既存店改装に伴う店舗設備等の取得により、その資金支出が2億7千3百万円となったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、1億3千2百万円（前年同期比10.4%）となりました。これは主に、短期借入金の純増額が7億円、長期借入金の返済額が4億2千3百万円、配当金の支払額が1億4千3百万円となったことによるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

業績は概ね計画通り推移しており、現時点において平成23年11月10日に公表した平成24年6月期業績予想に修正はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表
(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年6月30日)	当第2四半期会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	499,726	987,388
売掛金	219,378	206,757
たな卸資産	5,502,462	5,817,317
その他	287,181	189,601
流動資産合計	6,508,748	7,201,065
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	5,268,834	5,255,290
土地	1,804,659	1,804,897
その他(純額)	971,606	960,745
有形固定資産合計	8,045,101	8,020,933
無形固定資産	196,431	213,713
投資その他の資産		
敷金及び保証金	464,398	465,823
投資不動産(純額)	844,128	837,391
その他	366,848	389,218
貸倒引当金	△13,123	△11,376
投資その他の資産合計	1,662,251	1,681,055
固定資産合計	9,903,784	9,915,703
資産合計	16,412,532	17,116,768
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,370,294	1,816,924
短期借入金	2,684,964	3,418,812
未払法人税等	305,248	186,949
その他	595,590	503,850
流動負債合計	4,956,097	5,926,535
固定負債		
長期借入金	4,031,836	3,574,588
資産除去債務	215,971	218,131
その他	94,105	93,278
固定負債合計	4,341,913	3,885,997
負債合計	9,298,010	9,812,533
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,057,500	1,057,500
資本剰余金	1,086,500	1,086,500
利益剰余金	4,965,640	5,158,891
自己株式	△4,702	△4,702
株主資本合計	7,104,938	7,298,189
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	9,583	6,045
評価・換算差額等合計	9,583	6,045
純資産合計	7,114,521	7,304,235
負債純資産合計	16,412,532	17,116,768

(2) 四半期損益計算書
第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成22年7月1日 至 平成22年12月31日)	当第2四半期累計期間 (自 平成23年7月1日 至 平成23年12月31日)
売上高	12,010,874	12,600,721
売上原価	8,603,256	8,978,593
売上総利益	3,407,618	3,622,127
販売費及び一般管理費	3,261,057	3,327,497
営業利益	146,561	294,630
営業外収益		
受取利息	133	77
受取配当金	495	520
早期決済奨励金	234,600	236,189
受取手数料	76,335	78,414
投資不動産賃貸料	50,134	50,965
その他	3,066	6,425
営業外収益合計	364,766	372,592
営業外費用		
支払利息	48,228	47,274
投資不動産賃貸費用	19,210	19,304
その他	2,014	578
営業外費用合計	69,453	67,157
経常利益	441,873	600,065
特別損失		
固定資産除却損	—	5,083
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	62,711	—
特別損失合計	62,711	5,083
税引前四半期純利益	379,162	594,982
法人税、住民税及び事業税	123,909	175,234
法人税等調整額	35,715	82,756
法人税等合計	159,624	257,990
四半期純利益	219,537	336,991

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位: 千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成22年7月1日 至 平成22年12月31日)	当第2四半期累計期間 (自 平成23年7月1日 至 平成23年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	379,162	594,982
減価償却費	270,442	291,831
受取利息及び受取配当金	△629	△597
支払利息	48,228	47,274
早期決済奨励金	△234,600	△236,189
投資不動産賃貸料	△50,134	△50,965
投資不動産賃貸費用	19,210	19,304
固定資産除却損	—	5,083
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	62,711	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△64,943	12,620
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△581,538	△314,855
仕入債務の増減額 (△は減少)	507,580	446,629
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△33,315	△34,216
その他	△14,629	△43,486
小計	307,544	737,415
利息及び配当金の受取額	629	597
利息の支払額	△48,553	△47,661
早期決済奨励金の受取額	221,303	224,194
法人税等の支払額	△281,282	△291,842
営業活動によるキャッシュ・フロー	199,640	622,703
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,038,025	△273,861
投資不動産の賃貸による収入	52,274	50,830
投資不動産の賃貸に伴う支出	△10,865	△13,223
敷金及び保証金の差入による支出	—	△1,425
敷金及び保証金の回収による収入	1,582	—
貸付金の回収による収入	—	1,660
その他	△25,543	△31,310
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,020,578	△267,329
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,830,000	700,000
長期借入金の返済による支出	△418,800	△423,400
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△424	△429
自己株式の取得による支出	△41	—
配当金の支払額	△138,282	△143,882
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,272,451	132,287
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	451,513	487,661
現金及び現金同等物の期首残高	360,230	493,626
現金及び現金同等物の四半期末残高	811,744	981,288

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。